



踏みしめながら感じる連綿とした営み

砥川地区で「フットパス」を開催

12月9日、くまもと里モンプロジェクト推進事業「フットパス砥川コースを歩こう」が実施されました。

開始地点の下砥川公民館には例年の2倍近くとなる80人ほどが町内外から集合。案内の下、砥川地区の文化財や震災遺構、砥川溶岩などを見て回りました。

当日飛び入り参加したという熊本市在住の女性は、「当日参加でしたが、快く迎えてもらいました。震災遺構だけでなく文化財などについても知ることができて、また何よりも自然に癒されました」と話しました。



ガイドの案内で、砥川地区を散策する参加者たち



見事全国大会への切符を手にした「上益城」の皆さん

「ママさん」の力 全国へ跳び上がる

上益城チームがバレーボールで全国大会へ

上益城郡在住のメンバーから成るチーム「上益城」が、「第29回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会」に出場することが決定しました。

『ママさんバレー』はレベルが高く、同チームは結成10年目にして悲願達成となりました。町内メンバーの松岡由美さん(古閑)と菅野恵美子さん(広崎3町内)は、「大変なときに、バレーをしていいのかという思いもありましたが、家族や全国からいただいた支援に対してありがたいの意味を込めて頑張りたい」と話しました。

ふるさとの何気ない魅力を描き出す

熊日美術公募展で角軍亀さんが入賞

熊本日日新聞社の美術公募展「くまもと『描く力』2017」で、角軍亀さん(福富)がふるさと部門の特選一席・東宝ホーム賞を受賞しました。

力作揃いの81点の中から選ばれた作品は、「かぼちゃを収穫する息子さん」を描いたもので、受賞の喜びについて角さんは、「地震で家が大変な状況でしたが、そういった気持ちを切り替え、地震に打ち勝つために全てを絵画へぶつけました。入選を目標にしていたのですが、それ以上の成果を得られて嬉しいです」と話しました。



丹精込めて作ったかぼちゃを収穫する日常の一コマ

Pickup plus
今月のプラス+



12月19日、ひろやす荘の地域交流ホールで開催された第2回地域づくり会で、餅つきが行われました。職員は「まずは体を動かして、打ち解けた雰囲気になってくれればと思い餅つきを実施しました。今回はみなしも含む仮設住宅にお住まいの方にも来てもらっているので、引き続き、皆で地域づくりの話し合いができれば」と話しました。